

# 主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・R1年度)

① 基本事項	計画コード	事業名		部名	産業建設部	
	17016	都市計画道路整備事業(野村布気線)		課名	土木課 施設整備G	
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	04:道路の保全・整備			款	08:土木費
	施策の方向	01:幹線道路の整備			項	02:道路橋梁費
戦略プロジェクト	03:「JR亀山駅周辺拠点力向上」プロジェクト		目		03:道路新設改良費	
事業予定期間	H 18 ~ H 30 年度	主な根拠法令要綱等	道路法、道路構造令			

② 目的・概要	対象	市民及び来訪者
	目的	県道亀山関線と併せ、亀山市街と関地区を結ぶ幹線道路となる当路線を整備することで、生活の利便性や防災機能を向上させるとともに、産業活動や地域間交流の促進を図る。
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施行延長 L=900m</li> <li>・幅員16m(2車線、両側歩道)</li> </ul>	

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○工事(長田池部)</li> <li>○護岸・洪水吐工事</li> <li>○道路改良工事(その1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○工事(長田池部)</li> <li>○護岸・洪水吐工事</li> <li>○道路改良工事(その2、その4)</li> <li>○防球ネット工事</li> </ul>		
	年度実績	工事(長田池部) 地盤改良工、工場製品製作 護岸・洪水吐工事 取水施設工 道路改良工事(その1) L=391m	工事(長田池部) 護岸・洪水吐工事 道路改良工事(その2、その4)L=900m		
事業費	計画額	事業費	255,300千円	698,000千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債	241,500千円	663,100千円	
		その他			
	予算額(※)	事業費	283,545千円	403,322千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債	269,000千円	383,000千円	
		その他			
	決算額	事業費 ①	282,362千円	386,561千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債	265,000千円	366,200千円	
		その他			
人件費	一般財源	17,362千円	20,361千円	0千円	
	総人件費 ②	5,858千円	7,783千円		
	一般職員	5,858千円	7,783千円		
	所要人員	0.80	1.00		
	臨時職員等	0千円	0千円		
総コスト(①+②)		288,220千円	394,344千円		
受益者負担率		0.0%	0.0%		

			平成29年度	平成30年度	令和元年度
④ 指標	①	名称 整備進捗率	計画値	62	100
		実施済み事業費/総事業費	実績値	62	89
			単位	%	%
②	名称	計画値			
		実績値			
		単位			
③	名称	計画値			
		実績値			
		単位			

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 平成30年度完成に向けて整備を計画的に進める為には、事業実施に伴う関係機関との協議や関係者との合意形成を図ることが必要である。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 必要に応じ個別説明や説明会を実施し、的確に対応し、適時適切に進めた。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 関係機関や関係者との協議、調整を行い完成に向け、各工事の発注を行うことが出来た。工事(長田池部)と護岸、洪水吐工事について、水利関係者との協議も順調に進み、前年度に引き続き工事の進捗が図れた。 道路改良工事について関係機関協議の中で不測の期間を要する事もあり、年度内完成が出来なかった部分もあるが概ね事業進捗が図れた。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 工事(長田池部)と護岸・洪水吐工事については完成するとともに、道路改良工事については舗装工事を除く部分について概ね完成した。令和元年度の供用開始に向け事業進捗が図れたことで、移動時間の短縮、安全性の向上、交通の円滑化等の発現が期待できる。	B まずまず成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 整備区間の全線供用開始に向けて年度内完成が出来なかった残工事を早期に完成させる必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 早期に残工事を完成させる為、工程調整を行い、適時適切に進めていく。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 全体事業区間を完成させ、供用開始する事で、生活の利便性や防災機能を向上させるとともに、産業活動や地域間交流の促進が図れる。	
対応時期		令和元年度	

【1次評価者】	産業建設部 土木課 施設整備グループリーダー 水越 洋光
【最終評価者】	産業建設部 土木課長 服部 政徳

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	B			
	成果	B	B			

※平成30年度予算額(事業費)の内訳について

		予算額(事業費)	403,322 千円
内訳	平成29年度からの繰越額	15,892 千円	
	平成30年度最終予算額	552,600 千円	
	令和元年度への繰越額	△ 165,170 千円	